【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】令和1年5月16日(2019.5.16)

【公開番号】特開2017-187356(P2017-187356A)
【公開日】平成29年10月12日(2017.10.12)
【年通号数】公開・登録公報2017-039
【出願番号】特願2016-75601(P2016-75601)
【国際特許分類】
Ｇ０４Ｃ　3/00　(2006.01)
Ｇ０４Ｇ　21/02　(2010.01)
【ＦＩ】
Ｇ０４Ｃ　3/00　Ｂ
Ｇ０４Ｇ　21/02　Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成31年4月3日(2019.4.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
指針を用いて情報を表示する表示部と、
前記指針を駆動する駆動部と、
脈拍を測定する測定部の測定結果が示す脈拍に同期して前記指針が運針されるように前記駆動部を制御する制御部と、
を備える、
ことを特徴とする時計。
【請求項２】
前記制御部は、
前記指針が指針軸を中心に所定時間で１周し、且つ、
前記指針軸を中心に１周させるために前記指針を運針する回数が前記測定結果の示す脈拍の前記所定時間における脈拍数と同じとなるように、
前記駆動部を制御する、
ことを特徴とする、請求項１に記載の時計。
【請求項３】
前記指針は、秒針であり、
前記所定時間は、１分間である、
ことを特徴とする、請求項２に記載の時計。
【請求項４】
前記駆動部は、
Ｍ回（Ｍは、２≦Ｍを満たす自然数）のステップの駆動により、前記指針軸を中心に前記指針を１周させ、
前記制御部は、
前記駆動部に、前記指針の１回の運針を、式（ｉ）を充足するＱ1回（Ｑ1は、１以上の自然数）のステップまたはＱ2回（Ｑ2は、Ｑ2＝１＋Ｑ1を満たす自然数）のステップで駆動させる、
ことを特徴とする、請求項２または３に記載の時計。

Ｍ＝｛（ＰＲ－Ｊ）*Ｑ1｝＋｛Ｊ*Ｑ2｝　…　（ｉ）
ここで、
ＰＲは、前記測定結果の示す脈拍の前記所定時間における脈拍数を示す２以上の自然数であり、
Ｊは、０≦Ｊ＜ＰＲ、を満たす自然数である。
【請求項５】
前記駆動部は、
駆動信号に応じて前記指針を駆動し、
前記制御部は、
前記測定結果の示す脈拍の前記所定時間における脈拍数と、
前記所定時間における脈拍数に応じて前記駆動信号の波形を規定する波形情報と、
に基づいて、前記駆動信号を生成する、
ことを特徴とする、請求項２または３に記載の時計。
【請求項６】
指針を用いて情報を表示する表示部と、
脈拍を測定する測定部の測定結果が示す脈拍に同期して前記指針が運針されるように前記表示部を制御する制御部と、
を備える、
ことを特徴とする時計。
【請求項７】
外部機器と通信を行う通信部を備え、
前記測定部は、前記外部機器に設けられる、
ことを特徴とする、請求項１乃至６のうち何れか１項に記載の時計。
【請求項８】
指針を用いて情報を表示する表示部と、前記指針を駆動する駆動部と、を備える時計の制御方法であって、
脈拍を測定する測定部の測定結果が示す脈拍に同期して前記指針が運針されるように前記駆動部を制御する、
ことを特徴とする時計の制御方法。